

幸せのひまわり展

第13回

作品募集期間 22年7月20日(火)～8月19日(木)

記載事項 お名前 ご住所 電話番号 年齢(幼児 児童は、学校名
園名も)を作品と受付名簿に明記

作品受付 東部フレンドホール1F受付 午前9時～午後7時
(江戸川区瑞江2-5-7 都営新宿線 瑞江駅 北口)

Tel 03-5666-1221

ひまわりの

絵・写真・作文・工作なら

用紙・筆記用具・サイズ・材料は **自由!**

展示会場 東部フレンドホール2F ホワイエ

展示期間 22年8月21日(土)～8月30日(月)

表彰式 8月29日(日) 東部フレンドホール 4F集会室1

AM10時より (入賞された方に個別連絡致します)

主催 ・ボランティアグループ「ひまわりウェーブ」

共催 ・(財)江戸川区環境促進事業団

後援 ・江戸川区 ・東京江戸川ライオンズクラブ

※ 原則として作品の返却は致しませんが返却希望の方は提出の際にお申し出下さい。
尚、返却は9月1日(水)～9月5日(日)迄 1F受付にて行いますので、期間内に
お越し下さい。

お問合せ ボランティアグループ ひまわりウェーブ

事務局 坂本自動車工業(株)篠崎中古車センター内

Tel 03-5666-1190

ひまわり

ボランティアグループ ひまわりウェブの活動紹介

“ひまわりウェブの誕生”

神戸市在住の知人が「花いっぱい運動」を進める中、印象派の画家ゴッホ(1853~1890)の名画「ひまわり」(新宿・東郷清児美術館 常設)と子供たちの書いたひまわりの絵との競作を思いつき、共同展覧会の開催に向け活動しておりました。そんな最中、平成7年1月17日、“阪神・淡路大震災”が起きました。

知人は以前から「神戸市をひまわりでいっぱいにして」という運動を進めていたので「がれきの中にひまわりを」を合言葉に、ボランティアで自身の経営する自動車会社のトラックをお風呂に改造し、ひまわり温泉として各避難所を廻りながら(半年間で一万人)神戸で採れたひまわりの種を復興と希望のシンボルとし全国に広げたいことを思いました。

平成9年「応援しなければ。」当時、江戸川区立南篠崎小学校のPTA会長だった坂本潤之輔が知人の活動に共感し“ゴッホのひまわり画と子供たちのひまわり画の展覧会実現”への取り組みや我々も花いっぱい運動をすることでお互いのネットワークづくりをしようとひまわりの種を譲り受け江戸川区を出発点としボランティアグループ『ひまわりウェブ』として活動を始めました。



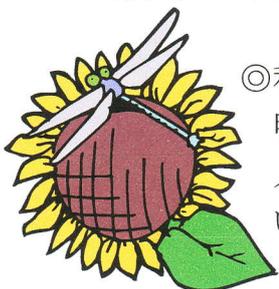
“主な年間活動”

- 4月 「緑のフェスティバル」参加 東部フレンド公園でひまわり専用花壇種まき
- 8月 “ひまわり”を題材にした絵・作文・写真・工作等の「幸せのひまわり展」開催
- 9月 種の収穫、袋詰め

★ご希望の方には“ひまわり銀行東京支店”が種の貸付けを行っています。
花を楽しんでもらい種が収穫できたらご返済頂きます。

他にもこんな事を.....

- ★ 阪神・淡路大震災や三宅島噴火を題材とした音楽劇の公演や現地への訪問交流活動
- ★ 献血活動・骨髄バンク事業への推進活動協力
- ★ 薬物乱用防止啓蒙活動
- ★ 環境保全(もったいない)運動の推進



◎私達は“青少年健全育成”“花のある明るい街づくり”の活動を通して「人と人」との助け合いネットワークを広げていきたいと思っています。



ひまわりウェーブの歩み

神戸市在住の知人が「花いっぱい運動」を進める中、印象派の画家、ゴッホ（1853-1890）の名画『ひまわり』（東京新宿・東郷清児美術館常設）と子供たちの描いた、ひまわりの絵との競作を思いつき平成3年より活動を始めました。

そうしたさなか、平成7年1月、“阪神・淡路大震災”が起きました。

知人は以前から「神戸市をひまわりでいっぱいにしよう」という運動を進めていたので『がれきの中にひまわりを』を合言葉にボランティアで、ご自身の経営する自動車会社のトラックをお風呂に改造し、ひまわり温泉として各避難所を廻りながら（半年間で一人）、神戸で採れたひまわりの種を復興と希望のシンボルとし全国に広げたいことを思いました。

平成9年、「応援しなければ。」知人の活動に共感し、我々も「花いっぱい運動」をすることで、お互いの助け合いネットワークづくりをしようと、ひまわりの種を譲り受け江戸川区を活動の出発点としボランティアグループ『ひまわりウェーブ』として活動を始めました。

これまでの活動

平成9年

4月 神戸から届いたひまわりの種 配布

8月 『第一回ひまわりシンポジウム』開催

ゴッホの名画の共同展覧会に賛同し、東郷清児美術館（新宿・安田火災ビル）にて巨匠画「ひまわり」との共同展覧会を開催しました。

小学生を中心に全国21600点の作品が集まりました。

撮影禁止の館内も美術館の計らいでゴッホの絵の前で記念撮影することが許可され、自分たちの描いた絵を手に写真に納まり夢を実現することができました。

平成10年

1月 『東部フレンド公園』（通称ひまわり公園）開園

行政から依頼があり、それに先立つアイデア検討会で当時、南篠崎小学校PTA会長であった坂本代表が中心となり、ひまわり専用花壇のある公園が実現できました。

公園内には150人の子供達の思いが込められた「ひまわり」の壁画のトイレが設置されました。

5月 『第一回幸せの黄色いひまわり展』開催

神戸の知人を東京に招き東部フレンドホールにて、阪神・淡路大震災を被災された方々の手紙、被災地に咲かせてくれたひまわりの写真、また全国の方々からの支援の手紙も寄せられ心温まる展示会となりました。その中のイベントとして東部フレンド公園内ひまわり専用花壇に5種類の種を蒔きました。

（ゴッホのひまわり・ジャンボひまわり・北海道／北竜町・九州／雲仙普賢岳・シベリアで育ったひまわり）

9月 『東部フレンド公園』にて種の収穫

平成11年

4月 『東部フレンド公園』にてひまわりの種まき（前年の5種類とオランダ原産の赤いひ

まわり「アパディーン」の6種類)

8月 『第二回幸せのひまわり展』開催

行政、近隣小学校、幼稚園の協力によりひまわりの写真、絵、作品、作文の募集をし、東部フレンドホールにて展覧会開催。各小学校のPTA会長などに審査していただき授賞式も行いました。その模様がテレビ、ラジオ等で紹介され写真は神戸のジャンボひまわりコンテストに出品しました。

作文はラジオにて子供達が収録に参加し、生の声で放送されました。

9月 『東部フレンド公園』にて種の収穫

10月 『ひまわり銀行』設立(種が資本)

当『ひまわりウェブ』は東京支店として参画(その他、北海道支店、埼玉支店、兵庫支店、福岡支店、全国5支店)

10月～翌年3月 収穫した種の返済受付

平成12年

4月 『東部フレンド公園』にて種まき(前年の6種類と内モンゴルの砂漠で咲いたひまわりの7種類)

4月～7月 前年、収穫した種の配布

8月 『第三回しあわせのひまわり展』開催

9月 『東部フレンド公園』にて種の収穫

9月～翌年3月 収穫した種の返済受付開始(ひまわり銀行)

平成13年

1月～5月 東部フレンド公園にて『堆肥作り』

(財)江戸川区環境促進事業団とともに、枯葉を使った堆肥作りに取り組みました。

この堆肥を利用して区内外でジャンボひまわり(4～6m)の育成に挑戦しました。

4月 東京ボランティアセンターにて神戸の「復興記念事業」で咲かせる150万本の一部となる種を神戸の市民ランナー及び職員に託しました。

港区立芝浦小学校にて開催の『第二回三宅島島民ふれあい集会』にボランティア参加し早期復興を願い“東京発・勇気と希望の花 ひまわり”の種、1500袋を全島民に贈りました。

前年、収穫した種の配布、種まき

8月 『第四回幸せのひまわり展』開催

9月 『東部フレンド公園』にて種の収穫

収穫した種の返済受付開始(13年度より東京支店、埼玉支店のみ活動)

12月 『第三回三宅島島民ふれあい集会』参加

平成14年

1月～5月 東部フレンド公園にて『堆肥づくり』

3月 収穫した種の返済受付終了

4月～7月 前年、収穫した種の配布、種まき

4月 『第四回三宅島島民ふれあい集会』参加

7月 下鎌田小、下鎌田東小のPTAや子供達、近隣有志と共に『瑞江水道タンクひまわり花壇』にて種まきの協力

8月21～9月1日 『第五回幸せのひまわり展』開催

9月 第2回ボランティアフェスティバル参加

11月～5月 東部フレンド公園にて『堆肥づくり』

平成15年

1月～5月 東部フレンド公園にて『堆肥づくり』

3月 収穫した種の返済受付終了

4月～7月 前年、収穫した種の配布、種まき

8月21日～8月31日 『第六回幸せのひまわり展』開催

11月～5月 東部フレンド公園にて『堆肥づくり』

平成16年

3月 収穫した種の返済受付終了

4月29日 東部フレンド公園にて第28回「緑のフェスティバル」参加
参加者総数約4000人(江戸川区発表)

4月～7月 前年、収穫した種の配布、種まき

8月20日～8月31日 『第7回幸せのひまわり展』開催

平成17年

10月～2月まで 東部フレンド公園にて『堆肥づくり』

4月3日 都立公園NO48 開園(ボーイスカウト小岩第1団・第2団と共に)

4月29日 東部フレンド公園にて第29回「緑のフェスティバル」参加
参加者総数約6000人(江戸川区発表)

8月11日 タワーホール船堀(小ホール)にて、阪神淡路大震災を題材にした
朗読劇「ぼくたちの1.17」上演

8月20日～8月31日 『第8回幸せのひまわり展』開催

9月 種の収穫

10月 今年度の堆肥作り終了

11月 都立公園NO48 収穫祭

平成18年

1月17日 船堀タワーホールにて第二回目の朗読劇『ぼくたちの1.17』上演

4月29日 東部フレンド公園にて第30回「緑のフェスティバル」参加
参加者総数約6,600人(江戸川区発表)

6月24日～26日まで 三宅島に於いて島民の皆様に元気になってもらおうと
ひまわりの種まきと「ちょい悪オヤジバンド」によるコンサート開催

8月20日～8月31日 『第9回幸せのひまわり展』開催

平成19年

1月21日 東部フレンドホールにて音楽劇『阪神淡路大震災そして三宅島より』
～メッセージ～を上演

4月29日 東部フレンド公園にて第31回「緑のフェスティバル」参加
参加者総数約6,600人(江戸川区発表)

8月20日～29日 『第10回幸せのひまわり展』開催

平成20年

4月29日 東部フレンド公園にて第32回「緑のフェスティバル」参加

参加者総数約 7,000 人(江戸川区発表)

8 月 19 日～28 日『第 11 回幸せのひまわり展』開催

12 月にはタイのエイズにかかった子ども達やエイズで親を亡くした子供たちの描いたひまわりの絵と、今まで開催したひまわり展に出品された絵と文房具等(使いかけ含む)を持って行き、タイでの絵画展を開催しました。

平成 21 年

1 月 16 日(金)～18 日(日)阪神淡路大震災「1.17 希望の灯り」の震災ボランティアとして神戸市三宮「東遊園地」に行き 1 月 16 日は前日準備、1 月 17 日当日は朝 4 時半に会場入り 1.17 と竹筒で作られた献灯台に数千人で献灯、その後は「1.17 希望の灯り」モニュメント前の噴水(被災者の慰霊碑)で献花、会場内での炊き出し体験、震災遺族との交流会、神戸、東京、三宅島のボランティア交流、江戸風鈴の絵付け体験、ひまわりの絵付けされた風鈴を遺族にお配りしました。1 月 18 日最終日は 9 時過ぎに会場に入り片付けと前日の献花で菊の花いっぱい噴水を中心に皆で清掃をして帰ってきました。

4 月 29 日 東部フレンド公園にて第 33 回「緑のフェスティバル」参加

参加者総数約 8,000 人(江戸川区発表)

8 月 20 日～30 日『第 12 回幸せのひまわり展』開催

今年は国内の作品 150 点の他、タイから 30 点ほどの絵が集まりました。

平成 22 年

1 月 16 日(土)～17 日(日) 阪神淡路大震災「1.17 希望の灯り」の震災ボランティアとして神戸市三宮「東遊園地」に行きました。今回は区内の中学生 2 名、小学生 1 名を含む 40 名で参加し交流テント内にて東京とタイの子供達のひまわり展と募金の手伝い等をして帰って来ました。

4 月 29 日 東部フレンド公園にて第 34 回「緑のフェスティバル」参加

参加者総数約 8,000 人(江戸川区発表)

※私達は「青少年健全育成」、「花のある明るい街づくり」の活動を通して人と人との助け合いネットワークを拡げ、今後もこのような災害が二度と起きないことを願いつつ、万が一の場合は適切な行動がとれる発信基地となるよう、メンバー一同活動していきたいと思ひます。

参考：平成 22 年は

終戦から 65 年

日航機墜落事故から 25 年

阪神淡路大震災から 15 年

三宅島噴火から 10 年

を迎えました。